

1 「総合的な学習の時間」における科学館利用

千葉県立現代産業科学館は、千葉県初の理工系博物館として平成6年6月15日に開館しました。全国でも数少ない、産業をテーマとする「参加・体験型」の科学館です。たくさんの展示物や資料・実験器具等があり、学校ではできない体験をしたり、実験を見たりすることができます。

科学館ならではの、テーマに合わせた効果的な展示・説明を通して、自分の興味ある課題について主体的に学習することができます。また、専門的なことについても館の職員から直接学ぶことができます。

科学館ではこんなことが学べます。

人間生活と科学技術

- ・京葉工業地域の歴史を中心とした千葉県の産業技術を総合的に学ぶことができます。
- ・産業史及びその技術的背景を学ぶことができます。（鉄鋼・電力・石油産業の歴史）
- ・バイオテクノロジー、エレクトロニクス、新素材など現在の私たちの生活を支える先端技術の原理や応用技術について、展示物やビデオを通して学ぶことができます。
- ・「エレクトロニクスと通信」、「人と石油」など、当館の特別展や企画展示で取り上げた生活関連の内容について、解説書やテキストを利用して学ぶことができます。
- ・力、音、波など科学の基礎的な原理を体験的に学ぶことができます。

環境と科学技術

- ・酸性雨、オゾン層破壊などの地球環境の変化について、展示物を通して学ぶことができます。
- ・気象衛星「ひまわり」の受信装置を通して、その日の地球を宇宙からの映像で見ることができます。
- ・資源の再利用（リサイクル）や代替エネルギーの技術について展示物を通して学ぶことができます。
- ・映像ホールでは、迫力ある全天周映像で千葉県の産業や自然・環境・科学技術について視覚的に学ぶことができます。

エネルギーと科学技術

- ・風力発電、高温岩帯発電などの新エネルギーについて展示物を通して学ぶことができます。
- ・発電の歴史、変電や送電のしくみなどについて展示物を通して学ぶことができます。
- ・石油エネルギーの利用について幅広く展示物を通して学ぶことができます。